

千葉看護学会第17回学術集会プログラムのご案内

- 9：30～10：00 会長講演 1階大ホール
「より良い看護実践を支えるもの」
会長 岡田 忍（千葉大学大学院看護学研究科）
座長 武田 利明（岩手県立大学看護学部）
- 10：10～11：20 教育講演 1階大ホール
「確かな看護技術の確立を支援する実証的研究の取り組み
～経験知を大切にしたエビデンスの創出（点滴漏出時のケア）～」
演者 武田 利明（岩手県立大学看護学部）
座長 永野みどり（千葉大学大学院看護学研究科）
- 11：30～12：00 千葉看護学会総会 3階レセプションホール
- 12：30～14：40 口演発表 1階大ホール
- 第1群 12：30～13：30 座長 大塚真理子（埼玉県立大学保健医療福祉学部）
- 1. 脳深部刺激療法（DBS）を受けたパーキンソン病患者の日常生活における対処行動に関する研究
○高田 純子（千葉大学医学部附属病院），ほか
 - 2. 働き盛り世代のうつ病の夫とともに生活をする妻の経験について
○阿部 玲子（千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程），ほか
 - 3. 多系統萎縮症（MSA）疑いで診断目的の入院を経験した患者がその入院の経過中及び退院後抱く思い
○益田 織江（千葉大学医学部附属病院），ほか
 - 4. 精神障害者本人が実感している生活の好転 ～2事例の分析から～
○時田 礼子（千葉大学大学院看護学研究科），ほか
 - 5. 緩徐進行性神経難病患者が考える移動動作を伴う生活をどう送るかについての意向
○小村 文乃（荒川区保健所），ほか
- 第2群 13：40～14：40 座長 今村恵美子（千葉大学大学院看護学研究科）
- 6. 保健師の現任教育における研究的取り組みの意味
○石丸 美奈（千葉大学大学院看護学研究科），ほか
 - 7. 介護老人福祉施設における看取りの看護実践の経験
～高齢者の人生で培われた意思を反映する実践に着目して～
○寺尾 洋介（千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程），ほか
 - 8. 糖尿病患者の自己の表現から捉えたその人としてのあり方
○橋本 美寿（東京慈恵会医科大学付属病院），ほか
 - 9. 看護を教える人の学びを支える授業リフレクション
～看護教員と臨地実習指導者の取り組みを通して～
○永井 睦子（神奈川県立平塚看護専門学校）
- 12：30～14：40 示説発表 3階会議室4
- P1. 療養病床における看護師のインタープロフェッショナルワークコンピテンシーの検討
○丸山 優（埼玉県立大学保健医療福祉学部），ほか

- P 2. 看護学生のもつ高齢者イメージに関する先行文献の検討
○張 平平 (埼玉県立大学保健医療福祉学部), ほか
- P 3. リハビリテーションを行う高齢脳卒中患者の学習体験
○島田 広美 (順天堂大学医療看護学部), ほか
- P 4. 終末期がん患者を在宅で看取った家族に対する訪問看護師の支援
○立木 宣子 (社会医療法人社団木下会 千葉西総合病院), ほか
- P 5. 注意欠如・多動性障害 (ADHD) のレジリエンスに関する研究
○高橋 美穂 (独立行政法人 国立国際医療研究センター国府台病院)
- P 6. 癒し技法としてのタッチの施行者と受け者の相互作用に関する研究
○近藤 浩子 (東京医療保健大学医療保健学部), ほか
- P 7. 病院感染サーベイランスシステムを構築・継続するための外部支援の課題
ーサーベイランス担当看護師に対する半構造化面接からの考察ー
○印田 宏子 (千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程), ほか
- P 8. 褥婦からみた, 妊娠期の性行為に対する満足度調査
○谷澤 美緒 (独立行政法人国立病院機構千葉医療センター), ほか

12:30～14:40 分科会 2階 会議室2・会議室3 3階 中会議室

分科会A: 高度実践看護者による看護実践へのエビデンスの活用

ファシリテーター 水野 芳子 (千葉県循環器病センター)

市原 真穂 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)

「早産児への閉鎖式気管吸引の導入と普及にむけた取り組み」

仲井 あや (千葉大学大学院看護学研究科)

分科会B: 基礎研究で得られたエビデンスの臨床での活用

ファシリテーター 田中 裕二 (千葉大学大学院看護学研究科)

和住 淑子 (千葉大学大学院看護学研究科)

「細菌学的検査結果に基づくCICカテーテルの管理方法への介入」

熊谷 民 (日本医科大学付属病院), ほか

分科会C: 看護管理者の立場における看護管理システムへのエビデンスの活用

ファシリテーター 奥 朋子 (千葉大学医学部附属病院)

瀬尾 智美 (千葉大学医学部附属病院)

「せん妄ケアにおける看護管理実践の実際」

窪田 容子 (千葉大学医学部附属病院)

※ 分科会は会場の都合のため、当日朝受付での先着各30名となります。

14:50～16:30 シンポジウム 1階 大ホール

「臨床現場の発展に向けたエビデンスの探求」

座長: 本田 彰子 (東京医科歯科大学大学院看護学研究科)

内田 明子 (聖隷佐倉市民病院)

1. 実践現場からエビデンスを求めて

小川 俊子 (千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程)

2. エビデンスを診療報酬につなぐ

江幡 智栄 (千葉大学医学部附属病院)

3. 実践家と研究者をつなぐ場をつくる

酒井 郁子氏 (千葉大学大学院看護学研究科)

16:40～ 懇親会 1階 レストラン「コルザ」